

OSAKA・II ZONTA CLUB

大阪Ⅱ ゾンタクラブ第58号 (2024年9月)



Eメールアドレス : d26osaka2@zonta-d26.jp

ホームページ : <https://osaka2-zonta.com/>

巻頭言

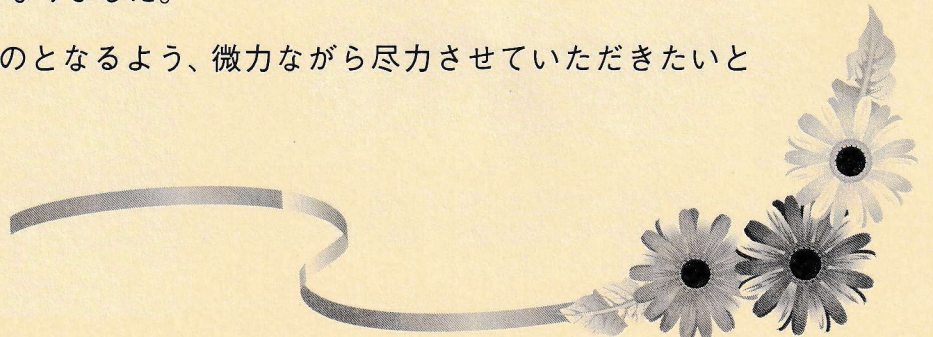
新会長 (2024 ~ 2026) 尼木 純子



2024年6月から会長に就任することとなりましたが、2008年1月に大阪Ⅱ ゾンタクラブに入会してから、あっという間に16年の月日が経って仕舞いました。その間に父を11年に看取り、本年母を看取る事となり、いまだに寂しい思いで一杯です。

ゾンタクラブの皆様は、様々な方面で活躍されていてとてもお優しい方々ばかりなので、例会でいろいろなお話を聞くだけで癒やされる和やかな会の為、日々の疲れが皆様との対話で吹っ飛んでしまいます。月に1回 素敵な時間を持って心を癒やし、新たな挑戦への鋭気を養うって感じで、気楽に例会に参加させていただいておりましたが、6月からは例会を統率する立場となってしまいました。でも、きっとお優しく、しっかりされた皆様は色々と助けて下さると信じています。本年大阪Ⅱ ゾンタクラブは30周年を迎え、素敵な式典を催す事が出来、おまけに台中Ⅲ ゾンタクラブと姉妹倶楽部の締結式も出来て、素晴らしい一年の幕開けとなりました。

皆様のゾンタライフが楽しいものとなるよう、微力ながら尽力させていただきたいと思っています。



創立30周年記念式典・祝賀会

佐田 あゆ美



創立30周年記念式典・祝賀会が3月24日リーガロイヤルホテル大阪で開催され、来賓や他クラブの役員や会員、そして姉妹クラブとなる台湾のゾンシャンもお招きし、総勢208名の方々と共に創立30周年を祝いました。

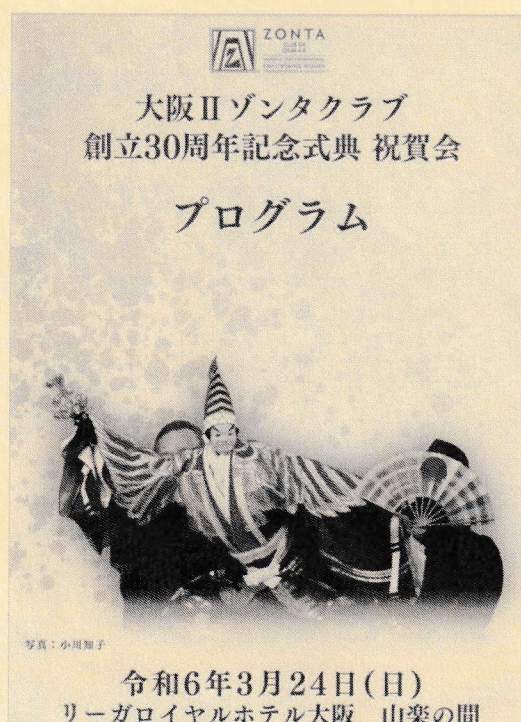
坂本会長からの挨拶に続き、来賓の国際ゾンタ指名委員の木下様、26地区ガバナーの浅野様より祝辞をいただきました。

大阪IIゾンタクラブの30年のあゆみ報告では、ベトナムでの障害者自立支援や国内での施設訪問等の紹介があり、続いての30周年記念寄付金贈呈では、奉仕を行ってきた7団体の紹介と寄付金の贈呈が行われました。この記念式典の後に姉妹クラブとして締結式を行った台湾の臺中IIIゾンタクラブ会長の陳様からのお祝いのお言葉も頂戴し、当クラブの過去・現在・未来に想いをさせながら、この先の活動へと期待感が高まりました。

そしていよいよ、楽しみにしていた文楽です。大阪で生まれ大阪で育った文楽は、ユネスコの無形文化遺産でもあり、皆さまにご披露する演目にピッタリ。特に、人間国宝の桐竹勘十郎さん、吉田玉男さんのお二人の揃っての贅沢な「寿二人三番叟」は、またと見ることのできない贅沢な舞台。優美な人形の動き、太夫の語りや三味線の演奏に魅了されました。

リーガロイヤルホテルの美味しいお食事に舌鼓を打った後には、当クラブ有志メンバーによる銭太鼓。始めたころとは違い「何かと不自由がある（年齢を重ね）」と前もってのお話がありましたが、会場の空気を一変するエネルギッシュなパフォーマンスでした。こうした時間を忘れる楽しい時間も束の間、尼木副会長からのお礼の言葉をもって散会となりました。

ご出席いただきました皆さまの温かいご支援とご協力に心より御礼申し上げます。



台中Ⅲゾンタクラブと姉妹クラブ締結

辻 康子



大阪Ⅱゾンタクラブ創立 30 周年記念式典、祝宴終了後、リーガロイヤルホテル楓の間で台中Ⅲゾンタクラブとの姉妹クラブ締結式が行われました。2023 年 4 月台湾高雄でアジア地区間会議が開催された時、台中Ⅲゾンタクラブ会長と坂本会長が出会い、その後、去年の秋に台中Ⅲから姉妹クラブ締結の提案がありました。坂本会長が議案を例会で諮った結果、賛成多数で両クラブの姉妹クラブ締結が決まりました。

今年になって両会長は式次第、段取り、参加者など細かく英語で頻繁にやり取りを続け、何の不安もなく当日を迎えることができました。アジア地区間会議実行委員長 謝維文氏、31 地区副ガバナー 鄭富糧氏、台中Ⅲゾンタクラブ会長 陳雅智氏はじめ台中Ⅲ、台北Ⅲゾンシャンやゲスト、総勢 23 名もの嬉しい来日でした。

締結書取り交わしの後、両会長による会員紹介そして記念撮影が行われました。台中Ⅲゾンタクラブ会長のご夫君は日本留学の経験がおありで通訳をしてくださり、司会役の尼木さんはスマホの翻訳機能を使って、それぞれ中国語と日本語で意思疎通をはかることができました。

配席は列ごとに台湾と大阪Ⅱが交互に座り、英語と漢字で表記した名札をそれぞれ置いたおかげで、近くに座った方達と親しく話げできました。私たちはお土産に文楽の手ぬぐいを用意していましたが、台湾側からは乾麺やお菓子など、どのようにして持ってこられたのかしら？と驚くほどお土産をたくさん頂きました。日本でも知る人の多い往年のガバナーで国際ゾンタ財団 Endowment Committee Honorary Member (2018-2022) のエミ・ライさんからのお土産のお菓子もいただきうれしい交流でした。最後に今はもう歌わなくなった ZONTA OFFICIAL SONG を大阪Ⅱメンバーで歌いお開きになりました。

台湾から桜見物を楽しみに来日されたでしょうに、今年は少し寒くてまだ蕾は固く残念なことでしたが、これから両クラブが楽しく有意義に交流できますようにと願っています。



春の奈良を味わう

幡山 玲子



4月14日、「春の奈良を味わうゾンタ移動例会」に参加した。10時近鉄奈良駅に8名が集合して、駅前から奈良散策が始まった。駅前から続く坂道を大勢の観光客と一緒に上がっていく。朝から汗ばむほどの上天気。坂の途中、横道にそれてまず興福寺に立ち寄る。

最初に国宝館に向かう。いうまでもなく阿修羅像を見るためであるが、国宝に指定されている仏像が多く、その顔は私の抱いていたイメージとは異なり、柔和だったり、ふくよかだったりしている。特に国宝の銅造仏頭のお顔は柔和で、どこか遠くを見ておられる感じが印象的である。また十大弟子立像の須菩提(すぼだい)は、とてもかわいく、親しみを覚えた。

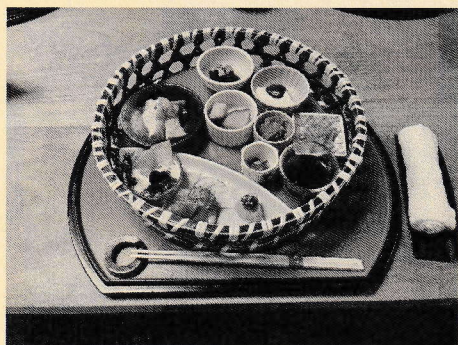
藤原氏の氏寺として平城遷都とともに創建された興福寺は、幾多の火災と再建を経て現在に至っている。1426年に再建された国宝の五重塔は現在保存修理工事中で拝観できなかったが、2018年に創建時の姿に再建された中金堂は、柱の朱色も鮮やかに屋根の上のシビが金色に輝いていて、奈良時代の人々は、きっとその大きさと鮮やかさに驚嘆したのではないだろうか。

興福寺拝観の後、猿沢の池をみて、昼食会場粟ならまち店に向かう。個室で奈良の野菜や奈良牛を使った料理を味わった後、例会の議事を行う。審議事項は台湾の地震に対するお見舞金の件、三林会員が台北エリアミーティングに参加されたことの報告の後、執行部の大半が参加している移動例会なので、6月からの活動をどうするか話しあった。隣に誰もいない2階の個室だったので、落ち着いて話ができ、いつも以上に活発に議論が交わされた。

その後なら町に一時期住んでおられた堀会員の案内で、なら町を散策して、最後に奈良ゾンタクラブ上田会員の経営されるホテル花小路を訪問した。暑い中の散策の後なので上田会員にお心使いいただき、冷たい飲み物をいただきながら、ガバナーの時のお話や東北地震の際のことなどなかなか聞けないお話を伺うことができた。

いつもは用事を済ますとすぐ帰ってしまっていた奈良だが、久しぶりにゆっくりと奈良を味わうことができた。京都から近鉄特急で35分の奈良なので、また再訪したい。

最後に、突然に大勢が訪問し、お時間を割いていただきおもてなくださった上田様に、厚くお礼申し上げます。



市議会議員の仕事と女性の政治参画 (2024.3.14)

内田 智子



今回は枚方市議会議員の佐田あゆ美会員より「市議会議員の仕事と女性の政治参画」のテーマでお話しいただきました。

女性参画としては、日本は世界の中のジェンダーギャップ指数において、健康と教育の点においては満点に近い好成績であるけれども経済参画では半分、政治参画においてはほぼ0に近いような指数であり、トータルでは146か国中125位と惨憺たる結果である事が示されました。その中にもあっては佐田会員の所属されている枚方市は女性議員の割合が34.4%と多い方で、大阪府の他市でも女性市議会議員の割合が4割から3割強の市が多くあり、女性の割合は増加の傾向にあるとのことでした。市民は女性ならではの観点での政治を求めている、また政治に参画しようとする志を持った女性が増えているのであれば素晴らしいことでもあります。

市議会議員の仕事は「市民の意見を集約して市議会を通じて政策に反映させる役割と、市の予算や政策が正しく行われているかをチェックする役割」ということで、佐田会員は特に小児や成人の障害者福祉に力を入れたいとの事でした。市民が何に困っているかを聴取したり、議会で質問したりするときの表現力が大事だそうです。

女性の政治参画についての課題として、政治は男性が行うものという風潮、議員生活と家庭生活との両立、女性候補を育成する機会が少ないことなどが挙げられていました。また市議会議員には身分保障がなく厚生年金も無いという事は意外でした。

最後の質疑応答では佐田会員から将来的には市長を目指したいという言葉も飛び出し、ゾンタらしいとメンバーから激励の拍手が贈られました。



午前の部

笠置 伸子



2024年5月26(日)11:00～16:30まで、グランキューブ大阪で西村寛子エリアディレクター主催の下、ホストクラブは大阪1ゾンタクラブが務めました。会員140名の参加でとても盛大にとりおこなわれました。テーマは「目標に向かって更に前進! ～女性と少女のためのより良い世界を築く～」。

11:00～11:15

開会式は点鐘、物故者黙禱、開会挨拶と西村寛子ADが執り行い、その後に浅野万里子地区ガバナーが挨拶をされ、引継ぎ木下彰子国際ゾンタ指名委員から来賓挨拶を頂き、浅野ガバナーから来賓紹介をして頂きました。

11:15～11:30

ビジネスセッションは11クラブ、140名の出席者報告と収支報告を西村寛子ADから受けました。

11:30～12:30 地区タイム～4エリア共通プログラム～

①ブリスベン大会に向けて、国際ゾンタ理事会のルネ・コポック様からのビデオメッセージを聴きました。

②第3回アジア地区間会議について(和田津美智代会員委員長)

2025年4月4日(金)～6日(日)ホテルニューオータニ博多 4月4日はエリア1～4エリアミーティングを行い、700名の参加を予定していると、沢山の会員参加を呼びかけた。国際大会ではプロシキーを預ける時は謝礼金を出す習慣があるクラブがあるが、原則としてその様な取り決めはないので、この謝礼金を国際ゾンタに寄付したらどうか提案があった。

2年以上プロシキーを預けるのを禁止しているような考え方もあるが、これも何回預けても良い。

③地区会員名簿オンライン管理と永久メールアドレスについて(福島大亮広報委員長)

会員名簿のオンライン化を来期は完全に。このことのメリットは、紙の名簿を発行することが無いので経費の節約と、その期間中でも簡単に訂正、変更出来る。

設定の難しさを解決して、毎月一回のペースでホームページを更新する予定。

福島大亮様が欠席でしたので、代理で西村寛子ADが報告された。

残念な報告ですが、エリア4神戸ゾンタクラブが3月で解散致しました。

とても簡潔で意義のある素晴らしい、午前の部のエリアミーティングでした。

午後の部

久岡 眞佐代



エリア3第16回エリアミーティングへの当クラブからの出席者は11名であった。私は、会議前半のビジネスセッションや地区タイムにおいてゾンタの組織運営に関する最新情報を得たいと思っていたが、仕事の都合で会議後半の山分ネルソン祥興氏(産婦人科医)の基調講演～女性の地位向上を目指して～《逆転力、^{たぎ}激らせろ!》からの参加となった。

山分ネルソン氏は、1973年9月9日生まれ、マレーシアの高校を卒業して18歳で来日、英語は話せたが、日本語が全く分からないままアルバイトをしながら苦学して北海道大学薬学部と大阪大学医学部を卒業され、2013年に大阪市内で「希咲クリニック」を開院された。

山分ネルソン氏の「夢を諦めない」、「人間死ぬ気でやれば何でもできる」という言葉どおり「希望を咲かせるクリニック」の開院である。

日本の高度経済成長期の豊かさを知る山分ネルソン氏は、今の日本の国力の衰えに驚かれ、少子化問題については「結果が出るのは30年後、今の女性が正しい性教育や医療知識を身につけて女子力を上げ、女性の地位を向上させることが少子化改善につながる。」という産婦人科医としての現場感覚に基づく有意義なご提言をいただいた。

最後に浅野万里子ガバナーから「コンパクトにまとまった会議だった。今後もいろいろ変化のあるゾンタになるが、ねばり強く愛情持ってなじんでほしい。」との講評をいただいた。普段は殆どネットで知る情報をリアルに知ることができて大変勉強になる充実した会議であったと思います。

2023年度 年間活動報告

2023.6.1 ~ 2024.5.31

例会日：毎月 第2木曜日 18時～
4月・11月移動例会

月	日	曜	例会等の場所	事業内容	委員会活動その他
2023					
6	8	木	リーガロイヤルホテル リモネ	昨年度の振り返りと今年度の活動について 30周年記念事業の準備	前年度の活動報告 エリアミーティングの報告
7	13	木	リーガロイヤルホテル リモネ	今年度の活動について 一般会計・前年度決算、今年度予算案提出承認	大阪Ⅱゾンタクラブ規約の改正 2023.7.13付で全部改正・同日施行 今年度の寄付先決定(4→5カ所に)
8	24	木	リーガロイヤルホテル ザレイ	大阪Ⅰ・Ⅱ合同納涼会 豪雨のため中止	
9	7	木	リーガロイヤルホテル 梅の間	卓話 大阪 SACHICO 理事 加藤治子氏「SACHICO から見える性被害の実態」	26 地区手続き法 2023 改正案承認 広報紙 56 号発行
10	12	木	リーガロイヤルホテル リモネ	30周年記念事業の準備	内田智子さん入会 10/5～7 第17回地区大会(名古屋)5名参加
11	12	日	移動例会	文楽鑑賞と会食(千房道頓堀店)	
12	14	木	リーガロイヤルホテル 梅の間	卓話 三光整理事長 側垣一也氏「子どもと家族に寄り添うために」	26 地区エリアミーティングレポート配布
2024					
1	11	木	リーガロイヤルホテル ザレイ	新年会	宮本典子会員休会
2	8	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	30周年記念式典・姉妹クラブ締結式典準備	能登半島地震被災者支援 (金沢ZC呼びかけ) 指名委員選出
3	14	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	ローズデー勉強会(佐田あゆ美会員) 「市義会議員の仕事と女性の政治参画」 30周年記念式典・姉妹クラブ締結式典準備	大阪Ⅱゾンタクラブ次期役員選出
	24	日	リーガロイヤルホテル 山楽の間 桐の間	創立30周年記念式典・祝賀会(208名参加) 台中Ⅲゾンタクラブとの姉妹クラブ締結式	広報紙 57 号発行
4	11	日	移動例会	奈良興福寺と会食(粟ならまち店)	台湾地震への義捐金(26地区口座あて) 台中Ⅲ ZC に義捐金送金
5	9	木	リーガロイヤルホテル 吉兆	今期の振り返り・特別会計報告・委員会報告・新旧役員引き継ぎ 来年度活動計画案	5/26 エリア3 エリアミーティング(大阪国際会議場)11名参加 中田智恵海会員退会

ヒトデプロジェクトで三光塾を訪問

坂本 千代



昨年の秋、ゾンタ 26 地区のヒトデプロジェクトに大阪Ⅱも参加することになり、2023 年度から私たちが援助を始めた西宮市の児童養護施設三光塾の子どもたちにプレゼントを配ることにしていました。3 月初めにゾンタローズデー用として、ボールペンとセットになった手帳、チョコレート菓子、マスキングテープ、ゾンタのしおり 2 種、カードが我が家に届いたので、一緒に入っていた透明な袋にこれを 1 つ 1 つ詰めてプレゼント 35 セットができあがりました。これを大きなスーツケースに入れて、2024 年 4 月 11 日 (木) 10 時に阪神甲子園口駅で辻康子会員と落ちあい、ご夫君の運転する車で小松西町の三光塾に向かいました。社会福祉法人三光事業団理事長の側垣一也氏と辻夫妻は旧知の間柄です。三光塾の応接室で側垣氏と三光塾施設長の瀧野真継氏にお話を伺い、施設内を見せていただきました。3 階建ての西棟と 2 階建ての東棟で構成されていて、西棟 1 階に食堂や事務室があり、東棟 2 階に多目的ホールやセラピールームなどがあります。そのほかの階には子ども 7～8 人ずつのユニットが 5 つあって、それぞれに担当職員がついて世話をしています。

当日いただいた資料によると、三光塾ではさまざまな理由で家庭での養育がむずかしい子どもを預かって、家族の協力を得ながら世話をしており、子どもたちは三光塾を家庭のようにして学校に通っています。4 月 1 日現在の子どもの数は 27 名 (定員は 35 名)、非常勤を含む職員は 27 名いるとのこと。24 時間常に職員がいなければならないわけですから、とても大変だろうと推察しました。セラピールームでは心理カウンセリングの部屋を見せていただきましたが、ここに来る子どもたちの中には虐待などで心に傷を持っている子が多いことがわかり、かなり衝撃を受けました。また、不登校の子もいると聞きました。平日の昼間でしたが、数人の子どもを見かけました。でも、彼らが職員と屈託なく話しているのを見て、なんだか少しほっとしました。

三光塾の運営費用は国が 5 割・県が 5 割の負担割合で、県を通じて支給されているそうです。それでもさまざまな理由で子どもたちのためにお金がかかるようですので、私たちもできるだけ支援したいと改めて思ったものでした。



左から辻、坂本、側垣氏、瀧野氏

編集後記

無事に創立30周年のお祝いを多くのゾンシャンと共に迎えられました。合わせて台湾ゾンシャンとも姉妹締結させて頂き、我々大阪Ⅱゾンタクラブは、さらなる飛躍をして参りたいと思います。皆様の素晴らしい原稿を編集させて頂きましたこと感謝申し上げます。

清水 聖保